

多摩川

南塚彩香

私は今現在多摩市に住んでおり、それ以前は府中市に住んでいたため、多摩川が身近な川だった。府中市と多摩市の境にもなっていて、かなり大きな川である。水量も多く、大雨の後などはかなり水かさが増している。川沿いでは白鷺などの鳥を見かける事がある。今の時季川沿いに生えた草は枯れて茶色をしている。多摩川沿いには高層マンションなども見られるが、川沿いの環境はそれほど悪くないように思われる。サイクリング・ロードをジョギングする人や犬の散歩をする人、川沿いの空き地や運動場で遊んだり運動したりする人も多い。釣りをする人の姿を見る事もある。京王線の架橋や関戸橋をはじめとする多くの橋が見られる。一方で、川沿いの所々にホームレスの住居が見られる。



中学二年の時に多摩市に引っ越してきたが、電車で元の中学に通っていたため、毎朝京王線で多摩川を渡っていた。高校も国立市だったので、やはり京王線で多摩川を渡っていた。そして今現在もそうである。府中市へ行く時はたいてい関戸橋を自転車で渡っていく。国立市に四谷橋を自転車で渡っていくこともある。大雨が降った後などはかなり濁流と化しているし、晴れた日には水面が光って綺麗である。一度犬を連れて川沿いを散歩しに行った事がある。府中市側の多摩川沿いはサイクリング・ロードが整備されていて、散歩やサイクリングに適している。その時も他の犬を連れた散歩客に会った。多摩川では毎年関戸花火大会が催されているが、去年の夏は台風のため中止になった。両親とも20~30年前の多摩川の様子は知らないようだった。近所の人も新しく越してきた人ばかりで聞けなかった。

ウィキペディアによると、多摩川は東京都、神奈川県、山梨県を流れる多摩川水系の本流で一級河川であり、東京都と神奈川県の県境としての役割も担っている。全長38km、流域面積1,240km²。堤防はあるが、護岸化されていない部分が多いため、川辺の野草や野鳥などが多く、自然が豊かである。名前の由来は諸説あり、よく分かっていない。流域では旧石器時代以降の古墳や遺跡が見つかっており、川沿いには早くから人が定住していた事が窺われる。勾配が急な川なので、古くから洪水が絶えず、その

ため「あばれ川」として知られていた。古くから内水面漁業が営まれている。

「美しい多摩川フォーラム」によると、流域自治体は、山梨県（甲州市、丹波山村、小菅村）、東京都（奥多摩町、青梅市、瑞穂町、檜原村、日の出町、あきる野市、羽村市、福生市、昭島市、武蔵村山市、立川市、国立市、府中市、八王子市、日野市、多摩市、稲城市、小平市、国分寺市、小金井市、調布市、狛江市、三鷹市、武蔵野市、世田谷区、大田区）、神奈川県（川崎市）の30市区町村で、このうち、奥多摩湖の小河内ダム直下からの多摩川に直接接している自治体は、東京都の奥多摩町、青梅市、あきる野市、羽村市、福生市、昭島市、立川市、国立市、府中市、八王子市、日野市、多摩市、稲城市、調布市、狛江市、世田谷区、大田区の17市区町のほか、神奈川県川崎市の合計18市区町である。昭和の高度成長時代に流域の住宅開発が進み、人口も増加して、流域の都市化が急速に進展した。このため、汚水処理等の対策が後手に回り、多摩川の水質は著しく悪化したが、1980年代から90年代にかけての下水道整備の進展や流域の環境保全に向けた市民運動の拡がりもあって、水質の汚染は徐々に緩和され、現在では、鮎が遡上するまでに回復している。

多摩側は比較的大きな川なので管理は大変だと思うが、大雨や台風の際も決壊したり洪水になったりしないよう、人と共生し、愛されていく川であってほしいと思う。川沿いの豊かな自然もいつまでも残ってほしいし、いつまでも綺麗な川であり続けてほしい。

ウィキペディア <<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%9A%E6%91%A9%E5%B7%9D>>

美しい多摩川フォーラム <<http://www.tama-river.jp/>>